

教育・研究業績書

<p>診療科名 越谷病院産科婦人科</p>		
<p><教員の紹介></p>		
<p>教 授 林 雅 敏 准 教 授 坂 本 秀 一 講 師 榎 本 英 夫 講 師 浜 田 佳 伸 講 師 矢 追 正 幸(学外派遣中)</p>		
<p>I 教育活動</p>		
<p>教育実践上の主な業績</p>	<p>年 月</p>	<p>概 要</p>
<p>① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）</p>		
<p>1. 学生の授業理解度の向上への工夫 2. BSL 学生の医療現場参加意識の向上 3. 臨床研修医の医療習熟の向上への取り組み</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>授業にあたっては、教育内容を図、表を用いて記載した教材を作成し、体系的に理解したうえで、記憶しやすいように工夫しました。学生にその教材用紙を配布しまして、学習意欲を高め、学生が担当教科を容易に理解し、十分に習得できるように配慮しています。臨床実習では患者さんの体およびその病態を観察して、自ら対処する機会を提供し、学生、研修医が病態を認識し、自身の考え方で患者さんに対応できるように指導します。</p>
<p>② 作成した教科書、教材、参考書</p>		
<p>臨床研修実践マニュアル（南江堂、2004年）に産婦人科的診察、流産、早産、正期産、月経困難症、更年期障害、子宮筋腫、子宮頸癌、卵巣嚢腫、卵巣癌の産婦人科の項目すべてを林 雅敏が執筆して掲載し、産科学、婦人科学実習の教材とした。</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>臨床研修実践マニュアルの内容を学生、研修医に教育し、学生の理解の一助とした。</p>
<p>③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項</p>		
<p>日々急速な進歩をしている医学を習得するためには、病態を認識する鋭い感性と既成概念にとらわれない柔軟な発想および豊かな創意を育てることも重視したいと考えています。</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>教育方針を理解し、急速に実力を伸ばす研修医が認められます。</p>

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院産科婦人科	教授	林 雅敏	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1975年～現在	日本産科婦人科学会員		
1991年～現在	日本産婦人科・新生児血液学会評議員		
1992年～現在	日本受精着床学会員		
1993年～現在	日本更年期医学会員		
1995年～現在	日本癌治療学会員		
1997年～2009年	日本母性衛生学会幹事		
1998年～2005年	日本産科婦人科学会埼玉産婦人科医会幹事		
1998年～2005年	日本産科婦人科学会埼玉産婦人科医会社保・国保合同協議会委員		
1998年～現在	日本妊娠中毒症学会（日本妊娠高血圧学会）員		
2000年～現在	日本癌学会員		
2000年～現在	日本分子腫瘍マーカー研究会員		
2002年～2005年	日本産科婦人科学会埼玉産婦人科医会 学術企画委員会委員		
2003年～2005年	英国の雑誌「Clinical Science」の Editorial Advisory Panel に任命		
2003年～2005年	日本更年期医学会幹事		
2003年～現在	日本産科婦人科内視鏡学会員		
2004年～2008年	日本婦人科腫瘍学会員		
2004年～現在	婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構（JGOG）会員		
2004年～2008年	東京医科歯科大学産科婦人科学教室同窓会幹事		
2004年～現在	日本女性心身症学会員		
2004年～現在	日本胎盤学会員		
2005年～2007年	日本女性心身医学会評議員		
2005年～現在	日本更年期医学会評議員		
2005年～2006年	日本妊娠高血圧学会幹事		
2006年～現在	日本妊娠高血圧学会理事		
2007年～現在	日本女性心身医学会理事		
2007年～現在	日本胎盤学会員		
2008年～現在	埼玉県産婦人科医会理事		
2008年～現在	日本婦人科腫瘍学会評議員		
2008年～現在	埼玉県産婦人科医会 学術企画委員会委員		
2008年～現在	日本産科婦人科学会埼玉専門医委員会委員		
2008年～現在	日本産婦人科医会埼玉県支部医療強化委員会委員		
2008年～現在	東京医科歯科大学産科婦人科学教室同窓会理事		
2009年～現在	日本産科婦人科学会代議員		
2009年～現在	日本産婦人科手術学会員		

2009年～現在	日本抗加齢医学会員
2009年～現在	日本周産期・新生児医学会員
2009年～現在	日本母性衛生学会理事
2009年～現在	日本母性衛生学会常務理事

Ⅲ 研究活動

【学位論文】

【著 書】

和文

1. 林 雅敏：9.産婦人科的診察. 臨床研修実践マニュアル. (編集. 奈良信雄) pp45-47. 南江堂 東京 2004.
2. 林 雅敏：1.流産. (臨床研修実践マニュアル. (編集. 奈良信雄) pp324. 南江堂 東京 2004.
3. 林 雅敏：2.早産. (臨床研修実践マニュアル. (編集. 奈良信雄) pp325. 南江堂 東京 2004.
4. 林 雅敏：3.正期産. 臨床研修実践マニュアル. (編集. 奈良信雄) pp326-327. 南江堂 東京 2004.
5. 林 雅敏：1.月経困難症. 臨床研修実践マニュアル. (編集. 奈良信雄) pp575. 南江堂 東京 2004.
6. 林 雅敏：2.更年期障害. 臨床研修実践マニュアル. (編集. 奈良信雄) pp576. 南江堂 東京 2004.
7. 林 雅敏：3.子宮筋腫. 臨床研修実践マニュアル. (編集. 奈良信雄) pp577. 南江堂 東京 2004.
8. 林 雅敏：4.子宮頸癌. 臨床研修実践マニュアル. (編集. 奈良信雄) pp578. 南江堂 東京 2004.
9. 林 雅敏：5.卵巣嚢腫. 臨床研修実践マニュアル. (編集. 奈良信雄) pp579. 南江堂 東京 2004.
10. 林 雅敏：6.卵巣癌. (臨床研修実践マニュアル. (編集. 奈良信雄) pp580. 南江堂 東京 2004.
11. 林 雅敏：別冊日本臨床. 内分泌症候群 (第2版). XIII. 内分泌性高血圧. 3. 妊娠高血圧症候群. pp509-512 南江堂 東京 2006.
12. 林 雅敏：不妊症. 今日の診断基準. (編集. 大田 健、奈良信雄) pp867-870 南江堂 東京 2007.
13. 林 雅敏：高プロラクチン血症. 今日の診断基準. (編集. 大田 健、奈良信雄) pp871-872 南江堂 東京 2007.
14. 林 雅敏 (監修)：乳がん. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp249-250 主婦と生活社 東京 2007.
15. 林 雅敏 (監修)：子宮頸がん. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp251-252 主婦と生活社 東京 2007.
16. 林 雅敏 (監修)：子宮体がん. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp252-253 主婦と生活社 東京 2007.
17. 林 雅敏 (監修)：無月経. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp432 主婦と生活社 東京 2007.
18. 林 雅敏 (監修)：稀発月経. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp432 主婦と生活社 東京 2007.
19. 林 雅敏 (監修)：頻発月経. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp433 主婦と生活社 東京 2007.
20. 林 雅敏 (監修)：過少月経. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp433 主婦と生活社 東京 2007.
21. 林 雅敏 (監修)：過多月経. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp433 主婦と生活社 東京 2007.
22. 林 雅敏 (監修)：月経前症候群 (PMS). 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp433-434 主婦と生活社 東京 2007.
23. 林 雅敏 (監修)：月経前不快気分障害 (PMDD). 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp434 主婦と生活社 東京 2007.
24. 林 雅敏 (監修)：子宮發育不全. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp435 主婦と生活社 東京

- 2007.
25. 林 雅敏 (監修) : 子宮後傾後屈. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp435 主婦と生活社 東京 2007.
 26. 林 雅敏 (監修) : 子宮下垂・子宮脱. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp435 主婦と生活社 東京 2007.
 27. 林 雅敏 (監修) : 子宮腔部びらん. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp436 主婦と生活社 東京 2007.
 28. 林 雅敏 (監修) : 子宮頸管ポリープ. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp436 主婦と生活社 東京 2007.
 29. 林 雅敏 (監修) : 子宮頸管炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp436 主婦と生活社 東京 2007.
 30. 林 雅敏 (監修) : 子宮内膜炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp437 主婦と生活社 東京 2007.
 31. 林 雅敏 (監修) : 子宮内膜症. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp437 主婦と生活社 東京 2007.
 32. 林 雅敏 (監修) : 卵巣のう腫. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp438 主婦と生活社 東京 2007.
 33. 林 雅敏 (監修) : 子宮筋腫. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp438-439 主婦と生活社 東京 2007.
 34. 林 雅敏 (監修) : 多のう胞性卵巣症候群. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp439 主婦と生活社 東京 2007.
 35. 林 雅敏 (監修) : 高プロラクチン血症. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp439 主婦と生活社 東京 2007.
 36. 林 雅敏 (監修) : 非特異性膣炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp440 主婦と生活社 東京 2007. 林 雅敏 (監修) : トリコモナス膣炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp435 主婦と生活社 東京 2007.
 37. 林 雅敏 (監修) : カンジダ膣炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp440 主婦と生活社 東京 2007.
 38. 林 雅敏 (監修) : バルトリン腺炎・バルトリン腺のう胞. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp441 主婦と生活社 東京 2007.
 39. 林 雅敏 (監修) : 萎縮性膣炎 (老人性膣炎). 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp441 主婦と生活社 東京 2007.
 40. 林 雅敏 (監修) : 外陰炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp441 主婦と生活社 東京 2007.
 41. 林 雅敏 (監修) : 外陰ジストロフィー. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp442 主婦と生活社 東京 2007.
 42. 林 雅敏 (監修) : 外陰潰瘍. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp442 主婦と生活社 東京 2007.
 43. 林 雅敏 (監修) : 外陰掻痒症. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp442 主婦と生活社 東京 2007.
 44. 林 雅敏 (監修) : 骨盤腹膜炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp443 主婦と生活社 東京 2007.
 45. 林 雅敏 (監修) : 子宮付属器炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp443 主婦と生活社 東京 2007.
 46. 林 雅敏 (監修) : 骨盤結合子織炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp444 主婦と生活社 東京 2007.

47. 林 雅敏 (監修): 性器結核. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp444 主婦と生活社 東京 2007.
48. 林 雅敏 (監修): 子宮の奇形. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp444 主婦と生活社 東京 2007.
49. 林 雅敏 (監修): 非特異性膣炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp440 主婦と生活社 東京 2007.
50. 林 雅敏 (監修): 外陰奇形. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp445 主婦と生活社 東京 2007.
51. 林 雅敏 (監修): 外陰と膣の損傷. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp445 主婦と生活社 東京 2007.
52. 林 雅敏 (監修): 子宮の損傷. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp445 主婦と生活社 東京 2007.
53. 林 雅敏 (監修): 萎縮性膣炎 (老人性膣炎). 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp441 主婦と生活社 東京 2007.
54. 林 雅敏 (監修): 性器瘻. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp445 主婦と生活社 東京 2007.
55. 林 雅敏 (監修): 更年期障害. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp446-448 主婦と生活社 東京 2007.
56. 林 雅敏 (監修): 更年期うつ病. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp448 主婦と生活社 東京 2007.
57. 林 雅敏 (監修): プレ更年期. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp448 主婦と生活社 東京 2007.
58. 林 雅敏 (監修): 不妊症. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp449-451 主婦と生活社 東京 2007.
59. 林 雅敏 (監修): 急性乳腺炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp452 主婦と生活社 東京 2007.
60. 林 雅敏 (監修): 慢性乳腺炎. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp452 主婦と生活社 東京 2007.
61. 林 雅敏 (監修): 乳腺症. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp453 主婦と生活社 東京 2007.
62. 林 雅敏 (監修): 乳腺のう胞症. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp453 主婦と生活社 東京 2007.
63. 林 雅敏 (監修): 乳腺線維腺腫. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp453 主婦と生活社 東京 2007.
64. 林 雅敏 (監修): 乳管内乳頭腫. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp454 主婦と生活社 東京 2007.
65. 林 雅敏 (監修): 葉状腫瘍. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp454 主婦と生活社 東京 2007.
66. 林 雅敏 (監修): 乳頭の異常. 新版 うちのお医者さん. (総監修. 奈良信雄) pp454 主婦と生活社 東京 2007.
69. 林 雅敏: ブロック《産科婦人科における》. 医学大辞典. (総編集. 伊藤正男, 井村裕夫, 高久史麿) pp191. 医学書院 東京 2009.

【原 著】

欧文

1. Hayashi M, Hoshimoto K, Komine F, Ohkura T, Inaba N: Macrophage colony-stimulating factor levels in amniotic fluid before and after the onset of labor do not differ in normal pregnancies. Am J Reprod Immunol 51:329-335,2004.
2. Hayashi M, Hamada Y, Ohkura T: Elevation of granulocyte-macrophage colony-stimulating factor in the placenta and blood in preeclampsia. Am J Obstet Gynecol 190:456-461, 2004.
3. Zhu K, Fukasawa I, Fujinoki M, Furuno M, Inaba F, Yamazaki T, Kamemori T, Kousaka N, Ota Y, Hayashi M, Maehama T,

- Inaba N: Profiling of proteins associated with cisplatin resistance in ovarian cancer cells. *Int J Gynecol Cancer* 15:747-754, 2005.
4. Hayashi M, Ueda Y, Ohkura T, Inaba N: Interleukin-6 concentrations in the placenta and blood in normal pregnancies and preeclampsia. *Horm Metab Res* 37:419-424, 2005.
 5. Zhu K, Fukasawa I, Furuno M, Inaba F, Yamazaki T, Kamemori T, Kousaka N, Ota Y, Hayashi M, Maehama T, Inaba N: Inhibitory effects of herbal drugs on the growth of human ovarian cancer cell lines through the induction of apoptosis. *Gynecol Oncol* 97: 405-409, 2005.
 6. Hayashi M, Ueda Y, Yamaguchi T, Sohma R, Shibazaki M, Ohkura T, Inaba N: Tumor necrosis factor- α in the placenta is not elevated in pre-eclamptic patients despite its elevation in peripheral blood. *Am J Reprod Immunol* 53:113-119, 2005.
 7. Hayashi M, Sohma R, Sumioka Y, Inaba N: Granulocyte-macrophage colony-stimulating factor levels in amniotic fluid before the onset of labor and during labor do not differ in normal pregnancies. *Am J Reprod Immunol* 55:69-75, 2006.
 8. Hayashi M, Fukasawa I, Inaba N: Serum levels of macrophage colony-stimulating factor in singleton and twin pregnancy. *Horm Metab Res* 38:193-196, 2006.
 9. Hayashi M, Hombu Y, Shibazaki M, Nakajima A, Inaba N: Elevation of macrophage colony-stimulating factor in amniotic fluid at late stage of normal pregnancy. *Am J Reprod Immunol* 55:226-231, 2006.
 10. Hayashi M, Shibazaki M, Sohma R, Inaba N: Effects of histologic type on levels of macrophage colony-stimulating factor in liquid contents of benign ovarian tumors. *Am J Med Sci* 332:181-185, 2006.
 11. Hayashi M, Fukasawa I, Inaba N: Thrombin-antithrombin complex and α_2 -plasmin inhibitor-plasmin complex levels in singleton and twin pregnancies. *Int J Clin Pract* 60:1244-1249, 2006.
 12. Sagesaka T, Juen H, Hayashi M: Influence of red blood cell concentration on the initiation time of blood coagulation: risk of thrombus formation in pregnant females with anemia. *Clin Hemorheol Microcirc* 36:155-161, 2007.
 13. Zhu K, Qu D, Sakamoto T, Fukasawa I, Hayashi M, Inaba N: Telomerase expression and cell proliferation in ovarian cancer cells induced by histone deacetylase inhibitors. *Arch Gynecol Obstet* 2007 Aug 7; [Epub ahead of print]
 14. Hayashi M, Zhu K, Sagesaka T, Fukasawa I, Inaba N: Elevation of amniotic fluid macrophage colony-stimulating factor in normotensive pregnancies that delivered small-for-gestational-age infants. *Am J Reprod Immunol* 57:488-494, 2007.
 15. Hayashi M, Zhu K, Sagesaka T, Fukasawa I, Inaba N: Amniotic fluid levels of tumor necrosis factor- α and soluble tumor necrosis factor Receptor 1 before and after the onset of labor in normal pregnancies. *Horm Metab Res* 40:251-256, 2008.

和文

1. 林 雅敏, 相馬良一, 堀中奈奈, 杉山紀子, 浜田佳伸, 大藏健義: 妊娠中毒症および正常血圧IUGR妊娠での羊水中 macrophage colony-stimulating factorの動態. *日本妊娠中毒症学会雑誌* 12: 151-152, 2004.
2. 林 雅敏, 小峰富美子, 星本和倫, 相馬良一, 大藏健義: 正常妊娠経過中における血清マクロファージコロニー刺激因子濃度の増加. *産婦人科治療* 89: 479-483, 2004.
3. 林 雅敏, 相馬良一, 片岡しのぶ, 大藏健義: 妊娠中毒症患者の胎盤組織内マクロファージコロニー刺激因子濃度の増大. *産科と婦人科* 71: 1238-1242, 2004.
4. 林 雅敏, 浜田佳伸, 大藏健義: 片側近位卵管閉塞不妊症患者に施行して高い妊娠率を認めた片側のみの卵管開通術. *日本生殖外科学会雑誌* 17: 66-74, 2004.
5. 大藏健義, 浜田佳伸, 矢追正幸, 友部勝実, 安藤昌守, 林 雅敏: 閉経後女性のうつ病と更年期障害に対するエストロ

ゲン補充療法 (ERT)、選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI) 療法、およびERT+SSRI併用療法の治療効果に関する臨床的研究. 日本更年期医学会雑誌 12 : 34-41, 2004.

6. 林 雅敏, 黄海文昌, 相馬良一 : 妊娠高血圧症候群妊婦の羊水中tumor necrosis factor- α の動態. 日本妊娠高血圧学会雑誌 13 : 137-138, 2005.
7. 相馬良一, 林 雅敏, 五來逸雄, 提坂敏昭, 黄海文昌 : 妊娠高血圧症候群妊婦の羊水中macrophage colony-stimulating factorの動態. 日本妊娠高血圧学会雑誌 14 : 101-102, 2006.

【症例報告】

欧文

1. Hayashi M, Ueda Y, Takimoto T, Ohkura T: Undifferentiated endometrial carcinoma of the uterus: marked effect of chemotherapy with tetrahydropyranil-adriamycin, paclitaxel, and carboplatin. Int J Gynecol Cancer 14:388-394,2004.

和文

1. 浜田佳伸, 堀中奈奈, 安藤昌守, 杉山紀子, 友部勝実, 矢追正幸, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林雅敏, 大藏健義 : 妊娠初期に総腸骨静脈血栓症を発症し分娩前に一時的な大静脈フィルターを挿入して経膈分娩に成功した1症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35:39-44, 2005.
2. 杉山紀子, 浜田佳伸, 堀中奈奈, 安藤昌守, 友部勝実, 矢追正幸, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林雅敏, 大藏健義, 上田善彦 : 筋腫分娩様に発育していた高悪性度子宮間質肉腫の1症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35 : 86-89, 2005.
3. 杉山紀子, 浜田佳伸, 堀中奈奈, 安藤昌守, 友部勝実, 矢追正幸, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林雅敏, 大藏健義, 上田善彦 : 排卵誘発をしてAIH後に子宮内膜症性嚢胞に卵巣膿瘍を合併した1症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35 : 20-23, 2005.
4. 矢追正幸, 浜田佳伸, 杉山紀子, 堀中奈奈, 安藤昌守, 友部勝実, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林雅敏, 大藏健義 : 塩酸エンドセリン使用で生じた肝障害を伴う手掌紅斑を認めた1症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35 : 121-122, 2005.
5. 矢追正幸, 林雅敏, 杉山紀子, 大藏健義 : 子宮体癌術後1年4ヶ月目に膀胱転移を含めた多発転移症例に対しT T J 療法を施行して、著効となった1症例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 24 : 160-164, 2006.
6. 矢追正幸, 榎本英夫, 上田善彦, 大藏健義, 林雅敏 : 「症例」妊孕性温存治療後に妊娠した子宮内膜癌患者へ行った帝王切開術直後の子宮摘出例. 産婦人科の実際、57 (5) : 887-893, 2008.
7. 矢追正幸, 大藏健義, 林雅敏 : 「症例」塩酸リトドリンを使用して生じた薬剤性肝障害を伴う手掌紅斑の1例 -ASTとALTによる検討- 産婦人科の実際、57 (8) : 1335-1339, 2008.
8. 矢追正幸, 大藏健義, 稲葉憲之, 林雅敏 : 「臨床経験」更年期女性におこなった肌のメンテナンス療法 -HRTと光療法による美肌への検討-産婦人科の実際、57 (10) : 1625-1628, 2008.
9. 矢追正幸, 榎本英夫, 浜田佳伸, 堀中俊孝, 坂本秀一, 石川康弘, 大藏健義, 林雅敏 : 初産の分娩後2日目に子宮底部に付着した癒着胎盤のため子宮全摘出術となった1症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 38:15-19, 2008.

【総 説】

【その他】

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院産科婦人科	准教授	坂本 秀一	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1984年 5月～現在	日本産科婦人科学会員		
1986年 8月～現在	受精着床学会員		
1991年 10月～現在	日本生殖医学会員		
1993年 4月～現在	日本更年期医学会員		
1995年 10月～現在	日本薬理学会員		
2006年 12月～現在	日本性感感染症学会員		
2006年 10月～現在	日本女性心身医学会員		
2006年 4月～現在	日本更年期医学会評議員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>坂本秀一</u> 、久保田俊郎：女性生殖器の手術—付属器摘出術. 岩井武尚、落海真喜枝編 手術患者のケア・マニュアル 医学芸術社, pp238-242, 2005.			
2. <u>坂本秀一</u> ：卵巣の疾患. 麻生武志編, 女性総合外来 文光堂, pp259-264, 2007.			
3. <u>坂本秀一</u> ：甲状腺疾患治療薬. 麻生武志編, 女性総合外来 文光堂, pp335-337, 2007.			
【原 著】			
欧文			
1. Momohara Y, <u>Sakamoto S</u> , Obayashi S, Aso T, Azuma H : Roles of endogenous nitric oxide synthase inhibitors and endothelin-1 for regulating myometrial contractions during gestation in the rat. Mol Hum Reprod. 10 : 505-512, 2004.			
2. Loyaga-Rendon R Y, <u>Sakamoto S</u> , Beppu M, Aso T, Ishizaka M, Takahashi R, Azuma H: Accumulated endogenous nitric oxide synthase inhibitors, enhanced arginase activity, attenuated dimethylarginine dimethylaminohydrolase activity and intimal hyperplasia in premenopausal human uterine arteries. Atherosclerosis. 178:231-239, 2005.			
3. Loyaga-Rendon R Y, <u>Sakamoto S</u> , Aso T, Beppu M, Iwasaki-Kurashige K, Takahashi R, Azuma H : Mediators involved in decreasing peripheral vascular Resistance with carbachol in the rat hind limb perfusion model. J Pharmacol Sci. 98:263-274, 2005.			
4. Ishibashi T, Obayashi S, <u>Sakamoto S</u> , Aso T, Ishizaka M, Azuma H : Estrogen replacement effectively improves the accelerated intimal hyperplasia following balloon injury of carotid artery in the ovariectomized rats. J Cardiovasc Pharmacol. 47:37-45, 2006.			
5. Hirata M, Obayashi S, <u>Sakamoto S</u> , Aso T, Imamura M, Azuma H : Involvement of arginase in regulating			

myometrial contractions during gestation in the rat. Mol Hum Reprod. 12 : 513-518, 2006.

和文

1. 堀出由里、清水康史、原田竜也、己斐秀樹、尾林聡、坂本秀一、久保田俊郎、麻生武志、多田雅人：不妊症例における腹腔鏡後の妊娠に関する検討。産婦人科の実際 55 : 1175-1178, 2006.
2. 矢追正幸、坂本秀一、大藏健義：GnRHアゴニスト療法前後における内分泌と骨密度変化の検討。HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY14 : 72-76, 2007.

【症例報告】

1. 平光史朗、渡辺亜紀、小坂元宏、谷口義実、尾林聡、坂本秀一、久保田俊郎、麻生武志：不正性器出血を主訴に来院した卵管癌の3例。日本産科婦人科学会東京地方部会誌 53 : 198-202, 2004
2. 宇野雅哉、己斐秀樹、清水康史、坂本秀一、久保田俊郎、麻生武志：経腔採卵術後に腹腔内出血を生じ開腹術を要した一症例。日本産科婦人科学会東京地方部会誌 54 : 162-165, 2005.
3. 関口将軌、寺内公一、坂本秀一、久保田俊郎、麻生武志：Floating fat balls を認めた成熟嚢胞奇形腫の1例。日本産科婦人科学会東京地方部会誌 54 : 347-350, 2005.
4. 矢追正幸、榎本英夫、浜田佳伸、堀中俊孝、坂本秀一、石川康弘、大藏健義 林 雅敏：初産の分娩後2日目に子宮底部に付着した癒着胎盤のため子宮全摘出術となった1症例。日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 38 : 15-19, 2008.

【総 説】

和文

1. 坂本秀一：女性の一生と卵巣機能およびその異常。日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 37 : 138-149, 2007.

【そ の 他】

欧文

1. Loyaga-Rendon R Y, Iwasaki-Kurashige K, Sakamoto S, Aso T, Azuma H : EDHF in the vasodilation of the peripheral resistant vessels of the rat. Proceedings of the 77th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society. J Pharmacol Science 94 (Suppl I) : 91, 2004.
2. Sakamoto S, Momohara Y, Obayashi S, Aso T, Azuma H : Roles of endogenous NOS inhibitors and ET-1 for regulating myometrial contractions during gestation of the rat. Proceedings of the 77th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society. J Pharmacol Science 94 (Suppl I) : 147, 2004.
3. Ishibashi T, Obayashi S, Sakamoto S, Aso T, Azuma H : Enhanced intimal hyperplasia after ovariectomy (OVX) is effectively improved by estrogen replacement therapy (ERT) in the rat. Proceedings of the 78th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society. J Pharmacol Science 97 (Suppl I) : 189, 2005.
4. Sakamoto S, Loyaga-Rendon R Y, Aso T, Iwasaki-Kurashige K, Azuma H : Involvement of K⁺ and P450 metabolites but not H₂O₂ in decreasing the perfusion pressure with carbachol (CCh) in the rat hind limb. Proceedings of the 78th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society. J Pharmacol Science 97 (Suppl I) : 288, 2005.

5. Sakamoto S, Loyaga-Rendon RY, Ohkura T, Aso T, Azuma H: Involvement of EDHF in relaxing peripheral resistant vessels of the rat hind limb. Abstracts of the 15th World congress of Pharmacology. Acta Pharmacol Sinica 27 (Suppl I) : 180, 2006.

教育・研究業績書

診療科名 越谷病院産科婦人科	職名 講師	氏名 榎本 英夫	大学院の研究指導担当資格 無
-------------------	----------	-------------	----------------

Ⅱ 学会等および社会における主な活動

1983年6月～現在	日本産科婦人科学会員
2003年7月～現在	埼玉県産婦人科医会超音波研究会幹事

Ⅲ 研究活動

【学位論文】

【著 書】

【原 著】

【症例報告】

和文

1. 杉山紀子, 浜田佳伸, 堀中奈奈, 安藤昌守, 友部勝実, 矢追正幸, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林 雅敏, 大藏健義, 上田善彦: 排卵誘発をしてAIH後に子宮内膜症性嚢胞に卵巣腫を合併した1症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35: 20-23, 2005.
2. 浜田佳伸, 堀中奈奈, 安藤昌守, 杉山紀子, 友部勝実, 矢追正幸, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林雅敏, 大藏健義: 妊娠初期に総腸骨静脈血栓症を発症し分娩前に一時的な下大静脈フィルターを挿入して経膈分娩に成功した1症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35: 39-44, 2005.
3. 矢追正幸, 浜田佳伸, 杉山紀子, 堀中奈奈, 安藤昌守, 友部勝実, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林雅敏, 大藏健義: 塩酸エンドセリン使用で生じた肝障害を伴う手掌紅斑を認めた1症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35: 121-122, 2005.

【総 説】

【そ の 他】

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院産科婦人科	講師	浜田 佳伸	大学院の研究指導担当資格 無
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1995年 4月～現在	日本産科婦人科学会会員		
2001年 6月～現在	日本女性心身医学会会員		
2002年 6月～現在	日本更年期医学会会員		
2002年 6月～現在	日本産科婦人科内視鏡学会会員		
2004年 10月～現在	日本産科婦人科学会認定医		
2006年 4月～現在	日本女性心身医学会幹事		
2008年 4月～現在	埼玉県産婦人科医会越谷地区委員		
2009年 5月～現在	日本抗加齢医学会会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
<p>浜田佳伸：長期ホルモン補充療法(Hormone replacement therapy: HRT)施行中の骨量減少閉経後女性の骨密度に対するビスフォスフォネート製剤併用効果と長期HRT施行中の高齢女性における骨密度の変化に関する臨床的研究. Dokkyo Journal of Medical Sciences 35:27-36, 2008.</p>			
【著 書】			
和文			
<p>1. 大藏健義、<u>浜田佳伸</u>：閉経後女性のうつ病に対するエストロゲン補充療法(ERT)、選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)療法、およびERT+SSRI併用療法に関する臨床的検討. 武谷雄二、大内尉義 編, 改訂 高齢女性の健康増進のためのホルモン補充療法ガイドライン, メディカルレビュー社, 東京, pp236-244, 2004.</p>			
【原 著】			
欧文			
<p>1. Hayashi M, <u>Hamada Y</u>, Ohkura T: Thrombin-antithrombin complex and α_2-plasmin inhibitor-plasmin complex levels after cesarean section in normal pregnancies and pre-eclampsia. Int J Gynaecol Obstet 82:213-216, 2003.</p>			
和文			
<p>1. 大藏健義、<u>浜田佳伸</u>、矢追正幸、友部勝実、安藤昌守、林雅敏：閉経後女性のうつ病と更年期障害に対するエストロゲン補充療法(ERT)、選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)療法、およびERT+SSRI併用療法の治療効果に関する臨床的研究. 日本更年期医学会雑誌 12:34-41, 2004.</p>			
<p>2. 安藤昌守、<u>浜田佳伸</u>：閉経後女性における長期ホルモン補充療法および経口エストロゲン製剤より経皮エストロゲン剤へ変更した際の各種動脈硬化指標と血清脂質に及ぼす効果に関する臨床的研究. Dokkyo Journal of Medical Sciences 35:37-45, 2008.</p>			

【症例報告】

和文

1. 浜田佳伸, 堀中奈奈, 安藤昌守, 杉山紀子, 友部勝実, 矢追正幸, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林雅敏, 大藏健義 : 妊娠初期に総腸骨静脈血栓症を発症し分娩前に一時的な下大静脈フィルターを挿入して経膈分娩に成功した 1 症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35:39-44, 2005.
2. 杉山紀子, 浜田佳伸, 堀中奈奈, 安藤昌守, 友部勝実, 矢追正幸, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林雅敏, 大藏健義, 上田善彦 : 筋腫分娩様に発育していた高悪性度子宮間質肉腫の 1 症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35:86-89, 2005.
3. 杉山紀子, 浜田佳伸, 堀中奈奈, 安藤昌守, 友部勝実, 矢追正幸, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林雅敏, 大藏健義, 上田善彦 : 排卵誘発をしてAIH後に子宮内膜症性嚢胞に卵巣膿瘍を合併した 1 症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35 : 20-23, 2005.
4. 矢追正幸, 浜田佳伸, 杉山紀子, 堀中奈奈, 安藤昌守, 友部勝実, 堀中俊孝, 榎本英夫, 林雅敏, 大藏健義 : 塩酸エンドセリン使用で生じた肝障害を伴う手掌紅斑を認めた 1 症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35 : 121-122, 2005.

【総 説】

【そ の 他】

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院産科婦人科	講師	矢追 正幸	大学院の研究指導担当資格 無
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1994年～現在	日本産科婦人科学会会員		
1998年～現在	日本更年期医学会		
2000年～現在	埼玉県産婦人科医会会員		
2000年～現在	日本癌治療学会会員		
2004年～現在	日本女性心身医学会会員		
2004年～現在	日本抗加齢医学会会員		
2005年～現在	日本婦人科腫瘍学会会員		
2006年～現在	JGOG 特定非営利活動法人 婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構		
2006年～現在	日本メディカルハーブ協会（顧問）		
2007年～現在	日本抗加齢美容医療学会会員		
2008年～現在	日本産婦人科乳癌学会会員		
2008年～現在	日本美容皮膚科学会会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
矢追正幸：閉経後女性の更年期障害症状、特に血管運動神経症状に対するセロトニン再取り込み阻害薬の治療効果に関する臨床的研究. 日本更年期医学会雑誌 15:239-249, 2007.			
【著 書】			
【原 著】			
和文			
1. 大藏健義、浜田佳伸、 <u>矢追正幸</u> 、友部勝実、安藤昌守、林雅敏：閉経後女性のうつ病と更年期障害に対するエストロゲン補充療法(ERT), 選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)療法, 及びERT+SSRI併用療法の治療効果に関する臨床的研究. 日本更年期医学会雑誌 12:34-41, 2004.			
2. <u>矢追正幸</u> 、坂本秀一、大藏健義：GnRH clinical report GnRHアゴニスト療法前後における内分泌と骨密度変化の検討. HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 14:166-170, 2007.			
3. <u>矢追正幸</u> 、大藏健義：子宮内膜症と子宮筋腫に対する偽閉経療法としての酢酸リュープロレリン, 酢酸ゴセレリン, 酢酸ブセレリンのランダム化比較試験（中間報告）. 産婦人科の実際 57:109-117, 2008.			
【症例報告】			
和文			
1. 杉山紀子、浜田佳伸、堀中奈奈、安藤昌守、友部勝実、 <u>矢追正幸</u> 、堀中俊孝、榎本英夫、林雅敏、大藏健義、上田善彦：排卵誘発をしてAIH後に子宮内膜症性嚢胞に卵巣膿瘍を合併した1症例. 日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌 35:20-23, 2005.			

2. 浜田佳伸、堀中奈奈、安藤昌守、杉山紀子、友部勝実、矢追正幸、堀中俊孝、榎本英夫、林雅敏、大藏健義：妊娠初期に総腸骨静脈血栓症を発症し分娩前に一時的な大静脈フィルターを挿入して経膈分娩に成功した 1 症例。日本産科婦人科学会埼玉地方部会会誌 35:39-44, 2005.
3. 杉山紀子、浜田佳伸、堀中奈奈、安藤昌守、友部勝実、矢追正幸、堀中俊孝、榎本英夫、林雅敏、大藏健義、上田善彦：筋腫分娩様に発育していた高悪性度子宮間質肉腫の 1 症例。日本産科婦人科学会埼玉地方部会会誌 35:86-89, 2005.
4. 矢追正幸、浜田佳伸、杉山紀子、堀中奈奈、安藤昌守、友部勝実、堀中俊孝、榎本英夫、林雅敏、大藏健義：塩酸エンドセリン使用で生じた肝障害を伴う手掌紅斑を認めた 1 症例。日本産科婦人科学会埼玉地方部会会誌 35:121-122, 2005.
5. 矢追正幸、林雅敏、杉山紀子、大藏健義：子宮体癌術後 1 年 4 ヶ月目に膀胱転移を含めた多発転移症例に対し TTJ 療法を施行して著効を示した 1 症例。日本婦人科腫瘍学会雑誌 24:160-164, 2006.
6. 矢追正幸、堀中俊孝、高見沢実、菅又嘉剛、大藏健義：小腸を 260cm 切除した人工妊娠中絶による子宮頸部前壁穿孔の 1 例。産婦人科の実際 55:1607-1610, 2006.
7. 矢追正幸、榎本英夫、上田善彦、大藏健義、林 雅敏：妊孕性温存治療後に妊娠した子宮内膜癌患者へ行なった帝王切開術直後の子宮摘出例。産婦人科の実際 57:887-893, 2008.
8. 矢追正幸、大藏健義、林 雅敏：塩酸リトドリン使用して生じた薬剤性肝障害を伴う手掌紅斑の 1 症例 - A S T と A L T による検討 -。産婦人科の実際 57:1335-1339, 2008.
9. 矢追正幸、稲葉憲之、大藏健義、林 雅敏：更年期女性におこなった肌のメンテナンス療法 - HRT と光療法による美肌への検討 -。産婦人科の実際 57:1625-1628, 2008.
10. 矢追正幸、榎本英夫、浜田佳伸、堀中俊孝、坂本秀一、石川康弘、大藏健義、林 雅敏：初産の分娩後 2 日目に子宮底部に付着した癒着胎盤のため子宮全摘出術となった 1 症例。日本産科婦人科学会埼玉地方部会会誌 38:15-19, 2008.
11. 矢追正幸：ホルモン補充療法による嗅覚感受性の検討 aromatopia 93:14-17, 2009.

【総 説】

【そ の 他】

和文

1. 矢追正幸：アロマテラピーによる皮膚トラブルの現状 - 診療の現場から - aromatopia 91, p37, 2008.